

第 63 回弘明寺サロン報告

地域社会における科学教育支援活動報告

～おもしろ科学たんけん工房での活動から～

2018 年 10 月 5 日 神奈川学習センター第 7 教室

講師 神谷邦子氏 (認定 NPO 法人会員)

先般、神奈川同窓会では、会員に対し放送大学で習得した知識・技能を生かし、活動されている方々から体験報告を募ったところ、神谷邦子氏から回答をいただきましたので、今回講師としてお招きしました。

神谷氏は製薬会社、横浜市立大の研究補助員を経て、ご結婚後、神奈川こども医療センター、理化学研究所、神奈川科学技術アカデミー (KATT) 等でパートタイマーで勤務、学び直しをするため、東京薬科大学「バイオキャリア講座」、放送大学の自然と環境コースを経て、修士課程の自然環境科学プログラムを修了後、現在、ボランティアで NPO 法人「おもしろ科学たんけん工房」の主に小学 4 年から中学 2 年生の児童・生徒を対象に、横浜市、藤沢市の 20 か所の会場で、学校支援活動や地域出前塾などの活動をされています。

当 NPO 法人は 210 名の会員 (平均年齢は 69 歳とか) で運営されていますが、活動推進スタッフの養成のため年 2 回は養成研修を開催し、アシスタントの実習体験や体験塾参加者と同じ体験の共有に努め、子供たちにいかに科学に興味を持たせるか、いかに理科の楽しさを体験させるかを主題として活動されています。

事例報告では、実際に神谷氏が手掛けた事例、「すもうロボットの製作」、「小麦の秘密」、「磁石のおもしろ科学」、「ヘリコプターの製作」など動画で披露いただきましたが、子供たちが興味津々、目を輝かせてとり組む様子が手に取るように理解できました。特にヘリコプターの出来栄は見事で、想像以上に高く上がり、驚かされました。

また報告の中で、学校サイドのニーズが増加する傾向にあるものの、会場確保の限界、応募者の減少傾向、会員の高齢化、NPO 法人の財源確保の苦労など、考えさせられる報告もありました。

なお今回は詳しく触れられませんでした。神谷氏が修士課程で取り組んだ子ども向けの DNA に関連するプログラム開発研究について、別に機会を設け、ぜひお話しいただきたいと思っています。

サロン担当 高橋照夫

